

事業番号	08 02 02	事業改善シート（令和8年度実施事業分）	■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	外国人旅行者戦略的誘致推進事業	部局	観光スポーツ部	課・室	観光誘客課	

1 現状と課題

- ・円安等の影響もありインバウンド需要が拡大した結果、令和6年の当県の外国人延べ宿泊者数は前年比56.7%増の約234万人泊を記録し、過去最高を大幅に更新。令和7年は、1～8月累計値で既に前年同時期比106.5%を記録しており、過去最高記録を更に更新する見込み。
- ・この機を捉え、これまで実績のある国・地域からの需要の確実な獲得、高付加価値旅行者層へのプロモーションの拡大、観光消費額の拡大を図るとともに、冬季集中からの通年化、県内各地への周遊を推進する。

2 事業目的

現在のインバウンド需要をさらに加速させるため、（一社）長野県観光機構（地域連携DMO）を中心に、外国人旅行者の「滞在日数の長期化」、「消費単価の向上」、「リピーターの獲得」に繋げる、マーケティングに基づいた戦略的なプロモーションを実施するとともに、外国人旅行者がストレスなく、安全・安心・快適に観光を満喫できる環境整備を推進する。

3 事業目的を達成するための取組

①戦略的なプロモーションの展開

- ・【拡】高付加価値旅行者層の実際の誘客に繋げるため、高付加価値旅行を取り扱う海外現地の優良ツアーオペレーターを招請し、現地視察・評価を通じて、県内複数箇所の周遊を含む新たな旅程の企画（商品化）を行う
- ・長野県ファン層の囲い込みとリピーター獲得を図るため、WebサイトやSNS等を活用して観光魅力の発信を戦略的に行う

②訪日教育旅行の誘致

- ・県内市町村、観光協会、観光事業者等が連携し、当県の豊かな自然や文化を活かした体験プログラムの開発・提供や、特色ある学校交流の紹介等により、国内外からの学習旅行・訪日教育旅行の誘致・受入を推進する

③インバウンドが安心・安全に滞在できる受入環境整備の推進

- ・【新】長野県地域通訳案内士制度の運用により、インバウンド対応可能なアドベンチャーツーリズムガイドを育成することで、旅行者の安心・安全を確保する

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし －：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度目標値	達成状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移		見込	推移			
①	欧（独）米豪からの延べ宿泊者数（暦年）	万人	16.2	26.4	↗	32	↗	34	↗	↗	国際航空運送協会（IATA）は、R7年の世界全体の旅客数が前年比6.7%増となる見通しを示しており、近年の旅行需要の高まりを踏まえると、R8年も旅客数の増加が続くと予測されるため、同様に6.7%増の34万人を目標に設定。
②	訪日教育旅行の受入件数	件	45	67	↗	50	↘	60	↗	↗	受入体制上、学校の長期休暇期間を除き週1～2件程度の受入が限界であるため、10ヶ月×4週間×1.5=60件と設定する。□
③	長野県地域通訳案内士育成研修の受講者数	人	－	－	－	－	－	20	↗	↗	研修参加定員20名の充足を目標に設定。（R8年度開催予定は1回）

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況					目標
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	
3-1⑥	世界水準の山岳高原観光地づくりの推進	☆観光消費額	億円	2022 (R4)	6,023	2023 (R5)	8,549	2024 (R6)	10,047
3-1⑥	世界水準の山岳高原観光地づくりの推進	訪日外国人旅行者の観光消費額	億円	2022 (R4)	37	2023 (R5)	541	2024 (R6)	1,136
3-1⑥	世界水準の山岳高原観光地づくりの推進	☆外国人延べ宿泊者数	万人泊	2022 (R4)	18	2023 (R5)	149	2024 (R6)	234
				2027 (R9)	9,000	2027 (R9)	747	2027 (R9)	207

6 事業コスト

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R8年度	予算案	2月上旬公表予定		0	0		3.0
	要求	190,624		190,624	139,201		
R7年度	0	140,005	0	140,005	116,741		3.0
R6年度	0	130,823	777	131,600	107,561	131,600	3.0

事業番号	08 02 02	細事業一覧（令和8年度実施事業分）	■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	外国人旅行者戦略的誘致推進事業	部局	観光スポーツ部	課・室	観光誘客課	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
1	インバウンド誘致促進事業	36,891 千円	35,153 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 33,323 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	戦略的デジタルプロモーション事業	負担金	当県のWebサイトやSNS等を活用し、ターゲットの嗜好や行動を踏まえた当県の観光魅力の発信を戦略的に実施 負担先：（一社）長野県観光機構 発信回数：計200回以上	
2	アジアプロモーション事業	負担金	当県へ多くの誘客が見込めるアジア市場において現地プロモーションを行い、一般消費者及び旅行会社に対し当県の魅力を直接的に訴求 負担先：（一社）長野県観光機構 ・長野県ファン交流会（中国）：2回 ・現地旅行博への出展：2回（台湾1回・タイ1回）	
3	インバウンド商談会事業	負担金	（一社）長野県観光機構が主催し、県内観光関係者と訪日旅行を取り扱う旅行会社との商談機会を提供 負担先：（一社）長野県観光機構 商談会参加事業者：セラー40団体、バイヤー40団体	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
2	高付加価値旅行市場開拓に向けたプロモーション事業	56,659 千円	60,582 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 107,916 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	現地コーディネーター設置	負担金	高付加価値旅行市場（欧米豪）からの誘客推進に向け、現地コーディネーターを3市場（独・米・豪）に設置 負担先：（一社）長野県観光機構 旅行会社との共同広告：3社（独・米・豪1社ずつ）	
2	高付加価値旅行者を取り扱う旅行会社の招請	負担金	【拡】高付加価値旅行を取り扱う海外現地の優良ツアーオペレーターの視察招請を行い、県内複数箇所の周遊を含む新たな旅程の企画（商品化）を行う 負担先：（一社）長野県観光機構 招請旅行会社数：3社（独・米・豪）、8社（シンガポール・香港）	
3	観光プロモーションイベント	委託	北米及びシンガポール・香港の現地にて、高付加価値旅行者を取り扱う旅行会社を対象にセミナー・商談会を実施 現地旅行会社の参加数：20社（北米）、20社（シンガポール・香港）	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
3	学習旅行誘致推進事業	11,493 千円	14,138 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 13,586 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	訪日教育旅行の誘致・受入調整	負担金	国内外からの学習旅行・訪日旅行誘致を図るため、学習旅行誘致推進員の配置等により、誘致・受入を推進 負担先：（一社）長野県観光機構 学習旅行誘致推進員の配置数：1名	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
4	インバウンド誘客関連団体負担金	8,587 千円	13,649 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 20,039 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	(一社) 中央日本総合観光機構負担金	負担金	中部北陸9県が連携し、インバウンドデータの収集・分析によるマーケティングを踏まえた現地商談会や情報発信等の共同事業を実施 負担先：(一社) 中央日本総合観光機構 共同事業実施件数：7件	
2	(一社) 関東広域観光機構負担金	負担金	SNSを活用し、サステナブルに関する観光コンテンツを発信するデジタルプロモーションを関東広域の都県と連携して実施 負担先：(一社) 関東広域観光機構 SNS事業における長野県コンテンツ投稿件数：18件	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
5	インバウンド受入環境整備事業	12,636 千円	5,436 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 15,760 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	長野県地域通訳案内士の育成	負担金	<u>【新】長野県地域通訳案内士制度の運用により、インバウンド対応可能なアドベンチャーツーリズムガイドを養成</u> 負担先：(一社) 長野県観光機構 長野県地域通訳案内士育成研修の実施回数：1回	
2	多言語コールセンター設置事業	負担金	訪日客の安心・安全な滞在と円滑なコミュニケーションを図るため「NAGANO多言語コールセンター」を運営 負担先：長野県国際観光推進協議会 24時間・365日・22言語で対応	